

平成 27 年度第 1 回知床世界自然遺産地域連絡会議

議事概要

平成 27 年 9 月 1 日 13:00 ～ 13:40

斜里町 産業会館

議案

1. エゾシカ・ヒグマ等の対策について
2. 環境省、林野庁、北海道の実施事業報告
3. 世界遺産委員会決議の対応について
4. その他

●開会挨拶（釧路自然環境事務所長）

釧路自然環境事務所の西山でございます。本日はお忙しいなか、平成27年度第1回知床世界自然遺産地域連絡会議にお集まりいただきましてありがとうございます。

知床国立公園指定から昨年で50周年、今年は世界自然遺産登録から10周年を迎えます。登録記念日の7月頃には全道、全国へ向けて知床をたくさん報道・紹介していただきました。世界遺産地域としての最初の10年を無事に過ごすことができたのは地域の皆さま方のご尽力・ご協力のおかげです。改めて御礼申し上げます。

本日の会議では、今年度行政で実施している事業の報告などを行いたいと思っています。前回と同じように、利用の関係につきましてはこのあと開催いたします適正利用・エコツアーリズム検討会議の議論にお任せしたいと考えております。その関係もありまして、短めの会議となりますが、こちらの「地域連絡会議」も大切な機会ですので是非、忌憚のないご意見をいただくとともに、お気づきの点、お感の点などありましたら遠慮なくご発言をいただければと思います。本日もどうぞよろしくお願い致します。

●馬場斜里町長御挨拶

皆様、改めましてこんにちは、開催地の町長として一言御挨拶申し上げます。皆様方には大変お忙しい中、遠方からもご出席頂きまして御礼申し上げます。

今年は世界自然遺産登録から10周年を迎え、昨年の国立公園登録から50周年と併せて記念式典を開催、無事終了出来たのは、皆様方のお力のたまものであり、感謝申し上げます。

また、これまで知床を愛して頂いた人々に様々な分野で協力して頂いた結果であり、いろいろな方に感謝をする10周年、50周年であったと思います。

これを契機に20年、50年と歩を進めながら知床の価値を今まで同様に維持していくために皆様方のお力をお借りしたいと心から願っております。

そのことをお願い申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。

議題 1. 遺産地域内におけるエゾシカ・ヒグマ対策について

■資料 1-1：平成 27 年シカ年度エゾシカ捕獲事業予定

…環境省、林野庁より説明。

■資料 1-2：平成 27 年度 斜里町・羅臼町のヒグマ対応状況について

…知床財団より説明。

- ✓ 環境省では、知床岬地区、ルサ-相泊地区、幌別-岩尾別地区の 3 カ所でエゾシカの捕獲事業を行った。
 - ✓ 知床岬地区では3月にヘリコプターで行き、4月、5月、6月と船を使い捕獲を実施した。
 - ✓ ルサ-相泊では捕獲目標値を大きく下回ったが、原因としては吹雪・雪崩により相泊囲いワナでの捕獲が実施出来なかったことがあげられる。
 - ✓ 幌別-岩尾別地区では、捕獲目標値を達成することが出来た。
 - ✓ 林野庁では、遺産隣接地域のウトロ地区、遠音別地区、真鯉地区の 3 カ所でエゾシカの捕獲事業を実施した。
 - ✓ ウトロ地区では囲いワナを新たにもう1基設置し、捕獲を行った。
 - ✓ 遠音別地区では囲いワナ、モバイルカリング、銃猟による捕獲を行った。
 - ✓ 真鯉地区では囲いワナ、箱ワナ、銃猟による捕獲を行った。
 - ✓ 全体的に目標頭数が未達だった原因は雪による囲いワナの設置遅れや、エサによる誘引期間が短かったことが考えられる。
-
- ✓ 7月は昨年と比べて非常にヒグマの出没が多かった。8月も引き続き出没が多い状況は続いている。
 - ✓ 8月末で出没件数は斜里町で 1200 件超、羅臼町 259 件。
 - ✓ 8月末での駆除件数は保護区内では斜里町1件、羅臼町2件。
 - ✓ フレペの滝付近に滞留個体がいるため、閉鎖が続いている。
 - ✓ 知床連山登山道周辺にもヒグマが出没しており、登山者の足止め事例等が発生している。テントの破損事例があったが、人や食糧へは被害が及ばなかった。食糧をフードロッカーに保管していたためであり、フードロッカーが有効活用された実例といえる。

環境省（坂口）：平成 24 年の大量出没はカラフトマスの遡上が遅れたとのことだが、今年の状況は？

知床財団（増田）：斜里側では遡上量は少ない状況にある。大量出没の原因としては山の実りなども含めて関係しているが、現状ではまだシーズン途中ということもあり判断出来ない。

議題 2. 平成 27 年度環境省・林野庁・北海道事業報告

■資料 2：平成 27 年度環境省・林野庁・北海道事業の予定

…環境省より説明。

- ✓ 平成 27 年度に遺産地域の管理のために環境省・林野庁・北海道が実施を行う事業について報告を行った。

質問・意見なし

議題 3. 世界遺産委員会決議の対応について

■資料：資料 3 世界遺産委員会決議の対応について

…林野庁より説明。

- ✓ 2012 年の世界遺産委員会決議にかかる保全状況報告は、平成 27 年 1 月に提出を行った。
- ✓ 第 39 回世界遺産委員会ドイツ・ボンで開催された。決議は主に以下の通り。
- ✓ ルシャ川の 3 つのダムの影響を緩和するため、ダムの完全撤去という選択肢の検討を含む更なる改良を継続すること、旧孵化場に通じる道路や橋を完全に撤去することを強く勧める。
- ✓ IUCN の諮問ミッションを招聘する可能性を検討することを勧告する。
- ✓ 第 41 回世界遺産委員会での検討の為に、2016 年 12 月 1 日までに世界遺産センターに報告書を提出すること。
- ✓ 科学委員会及び WG、API において議論し、必要に応じて地域連絡会議においても状況等を報告する。

ウトロ地域協議会（松本）：旧孵化場に通じる道路や橋を完全に廃止・撤去することを強く勧めると書かれているが今後どのように進めていくのか？

林野庁（三橋）：道路・橋の利用状況を踏まえて、どのような対応が出来るか検討を開始している。引き続き、研究者、専門家の方の意見を踏まえて対応を検討していきたい。

ウトロ地域協議会（松本）：漁業者の意見も踏まえて検討して頂きたい。

議題 4. その他

- 資料 4 : 平成 27 年度シンボルマーク使用申請許可状況等について

以上